

ベニカ X ガード粒剤

有効成分：クロチアニジン…0.10%

バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

(力価として 1000B.m.E 単位/mg) …10.0%

農林水産省登録 第 24274 号

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数※			使用方法										
				本剤	クロチアニジン	BT											
トマト、ミニトマト	アブラムシ類	5 g /株	定植後(但し、収穫前日まで)	3 回以内	4 回以内(育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 3 回以内)	-	株元散布										
	コジラミ類	10 g /株	定植時	1 回			植穴処理 土壌混和										
きゅうり、なす	アブラムシ類	5~10 g /株	定植後(但し、収穫前日まで)	3 回以内			-	-	株元散布								
	うどんこ病	10 g /株															
キャベツ	アブラムシ類	5 g /株	定植時	1 回					-	-	植穴処理 土壌混和						
	アオムシ	10 g /株															
はくさい	アブラムシ類、ハイマダラノメイガ	5 g /株										-	-	-	-	-	
ブロッコリー					5 回以内(定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 2 回以内)												
					4 回以内(定植時までの処理は 1 回以内、定植後の散布は 3 回以内)												
だいこん	アブラムシ類	15 g /㎡			は種時	3 回以内(は種時の土壌混和は 1 回以内、は種後は 2 回以内)	-	-									播溝処理 土壌混和
ばれいしょ					植付時	4 回以内(植付時の土壌混和は 1 回以内、植付後は 3 回以内)											植溝処理 土壌混和
いちご	アブラムシ類、		5 g /株	定植時	1 回	-			-	植穴処理							

	うどんこ病					土壌混和	
ピーマン	アブラムシ類	10 g /株	定植後(但し、収穫前日まで)	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)	株元散布	
ねぎ	ネギアザミウマ	15 g /㎡	収穫3日前まで	4回以内	4回以内(定植時までの処理は1回以内)	生育期 株元散布	
花き類・観葉植物(ばら、ガーベラ、バーベナを除く)	アブラムシ類	5 g /株(但し、100 g /㎡まで)	発生前～発生初期		4回以内		4回以内
	灰色かび病		発病前				
ばら	アブラムシ類	5~10 g /株(但し、100 g /㎡まで)	発生前～発生初期				
	コガネムシ類幼虫、アザミウマ類、クワシツブチョッキリ、チュレソジハハチ、パラシロカイガラムシ	10 g /株(但し、100 g /㎡まで)					
	うどんこ病、黒星病	5 g /株(但し、100 g /㎡まで)	発病前				
灰色かび病	発病前						
バーベナ	アブラムシ類	5 g /株(但し、100 g /㎡まで)	発生前～発生初期	4回以内	4回以内		
	うどんこ病	10 g /株(但し、100 g /㎡まで)	発病前				
	灰色かび病	5 g /株(但し、100 g /㎡まで)					
ガーベラ	アブラムシ類	10 g /株(但し、100 g /㎡まで)	発生前～発生初期	6回以内	6回以内		
	ハモグリバエ類	10 g /株(但し、100 g /㎡まで)					
	うどんこ病	10 g /株(但し、100 g /㎡まで)	発病前				

	灰色かび病	5 g /株(但し、100 g /㎡まで)					
--	-------	-----------------------	--	--	--	--	--

●散布は一ヵ所に集中せず均一に散布してください。

●「は種」とは、種をまくことです。

- 2020年4月22日付：はくさい、ばら、ガーベラ、花き類・観葉植物（ばら、ガーベラを除く）の変更
- 2021年2月10日付：はくさいの変更
- 2021年8月25日付：ねぎ、バーベナの追加、花き類・観葉植物（ばら、ガーベラ、バーベナを除く）、ばら、ガーベラの変更